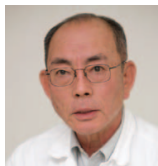


自動車部品製造業向け 基幹業務パッケージ EXPLANNER/Ja 導入事例
PLM/PDMシステム Obbligato II 導入事例

株式会社アツミテック 様

システムの刷新とともに業務プロセスを見直し。
精度の高い基準情報管理と統合受注管理により、
生産計画の精度向上、在庫の適正化、コストマネジメントを実現。



株式会社アツミテック
取締役
豊田 光次 氏



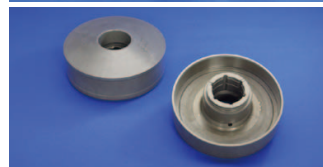
株式会社アツミテック
管理部 情報システムBL BLリーダー
松岡 栄 氏



株式会社アツミテック
開発部 技術管理BL 技術主任
伊藤 敏次 氏



社 名：株式会社アツミテック
本社住所：静岡県浜松市西区雄踏町宇布見 7111
設 立：1949年4月15日
資 本 金：3億1千万円
従業員数：846名(正規従業員479名)／2011年3月現在
主な事業：四輪車・二輪車・汎用機のチェンジコントロールシステム及びエンジン機能部品の開発・製造・販売
U R L：http://www.atsumitec.co.jp/



アツミテック様主力製品：コントロールシャフト、プーリー

概要

四輪車・二輪車・汎用機のチェンジコントロールシステム及びエンジン機能部品の設計・開発・製造・販売を手がける株式会社アツミテック様。同社はモノづくりのプロセスを見える化するために、老朽化したシステムを刷新。PLMソリューションObbligato IIの統合部品表管理機能と自動車部品製造業向けERP EXPLANNER/Jaの統合受注管理機能を活用することで、部品表をもとにした精度の高い基準情報管理や業務の精度向上・迅速化を実現しています。

POINT

導入背景・課題

- 受注変動をタイムリーに生産計画に反映できていなかったため、計画精度が低かった。
- 設計変更に追従できていなかったため、基準情報の精度が低く非効率だった。
- 慢性的に余剰在庫を抱えていたが、実績から原因を分析し改善につなげる仕組みと文化がなかった。

導入成果

- 取引先(車体メーカー)ごとに異なる受注情報一元化、内示・確定情報の置換による一元化により、受注変動に対するタイムリーな生産計画の見直しを実現。
- 部品表をもとに基準情報をリアルタイムに作成し、一元化。業務の正確性向上とスピード化、見える化による現場での柔軟な変更対応を実現。
- 製品・部品在庫を正確に把握することにより、在庫圧縮を実現。

NECの提案

- 自動車部品製造業界で豊富な実績を持つEXPLANNER/Jaの統合受注管理による受注情報と生産計画の正確かつ緊密な連携をNECネクソソリューションズがご提案。
- EXPLANNER/JaとObbligato IIの組み合わせにより、部品表を中核とした在庫管理とコストマネジメントを実現。
- 業務実績を残す文化を根付かせるためのシステムの刷新を低コストで実現し、NECグループの豊富な経験をもとにプロセスの見直しをサポート。

導入の背景

老朽化したシステムが、業務プロセス見直しのネックになっていた

着任早々、システムの見直しを担当することになった株式会社アツミテック 管理部 情報システムブロック(以下、「BL」と略す。) BLリーダー 松岡 栄氏は今回のシステム導入の背景について次のように語ります。

「システムを刷新したきっかけは大きく2つあります。ひとつは業務プロセスの中で実績をデータとして残す文化が当社になかったことです。例えば当時、帳簿在庫と実在庫の差が大きかったのですが、その原因を分析し、改善につなげる仕組みがありませんでした。もうひとつは、システムの老朽化です。20年以上前につくられたシステムを使い続けていたため、仕組みを変えようにもプログラムのソースコードがよく分からずカスタマイズできない、過去のデータを吸い出そうにもシステムの中身が見えないため手を出せないという状況でした。そこでシステムを刷新するとともに業務プロセスも見直そうということになったのです。」

導入の経緯

社内の意識改革、見える化を実現するために最適なシステム導入を検討

「私がシステムを担当することになって最初に感じたことは、当たり前のことが当たり前でできていないということでした。当時は各工程でそれぞれの部門が余分に在庫をもっておくことで、受注と生産の間に誤差が生じたときにも対応できるようにしていました。それは慢性的に余剰在庫を抱え、コスト負担や業務効率を悪化させる原因となっていたのです。」

さらに問題だったのは受注と生産の間に差が生じても誰も困らず、何が原因かが見えなかったことです。差が生じることを問題と捉え、その原因と責任を明確にする必要がありました(松岡氏)。アツミテック様は複数の会社のソリューションを比較、検討。その結果、受注から生産までを正確かつスムーズに連携でき、さらに在庫や現場の進捗を見える化できるEXPLANNER/JaとObligato IIの導入を決定しました。

システム概要

統合受注管理と部品表を核とした見える化で、業務の効率化、迅速化、柔軟な対応を実現

「新たなシステムの構築において重視したのは、リアルタイムでの進捗管理と在庫の見える化です。そこで部品表を中核としたマスターをつくって精度の高い基準情報をつくり、受注から生産管理までを正確かつ柔軟

にコントロールできるようにしました」と松岡氏。EXPLANNER/Jaは統合受注管理という概念に基づき、取引先ごとに異なる受注情報の一元化、内示・確定情報の一元化を行い生産計画へと情報を連携するので、変動した受注にもとづいた計画の見直しを柔軟かつ迅速にできるようになりました。また、Obligato IIとの連携により正確な部品表に基づきコントロールができるので、進捗の見える化や部品、製品のトレーサビリティも実現しています。

導入の成果と今後の展望

部品表ベースでのコントロールのさらなる徹底とグローバルな展開

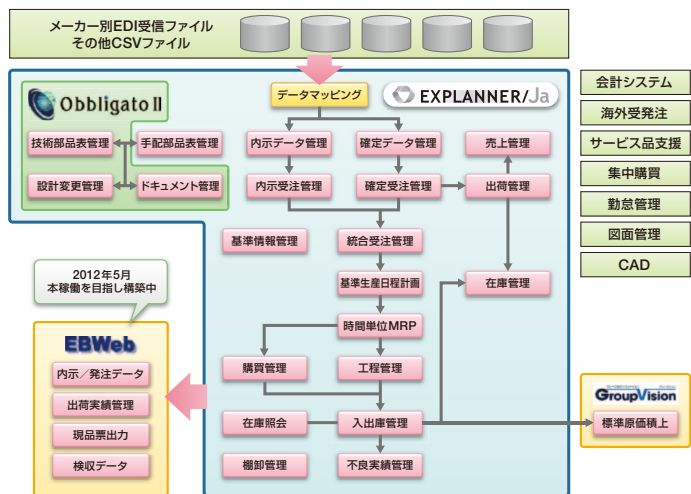
今回のシステム導入について、取締役の豊田 光次氏は語ります。

「EXPLANNER/Jaのパッケージの機能と、自動車部品業界での実績が豊富なNECグループのSI力を活かした柔軟なカスタマイズの組み合わせにより、低コストかつ短期間で導入することができました。提案をもらったときから導入のイメージが分かりやすかったため、スムーズにシステムを移行することができました。」

さらに今後の課題や展望について開発部 技術管理BL 技術主任 伊藤敏次氏は続けて語ります。

「まだ過去のやり方が残っている部分もあるので、今後は部品表によるコントロールをより徹底していきたいと思います。さらに設計・計画は国内、生産は海外といったグローバルな体制での活用も視野に入れていきます。今回の新しいシステムはWeb上で動くので、海外にも展開しやすいと思います。NECには海外での導入実績を踏まえた提案を今後も期待しています。」

● システム全体イメージ



NEC

NECネクサソリューションズ

本事例は、NECネクサソリューションズと連携してご提供しています。

お問い合わせは、下記へ

NEC EXPLANNER部

TEL: 03 (3798) 6844 FAX: 03 (3798) 7169

URL: <http://www.nec.co.jp/explanner/>

●本カタログに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
●このカタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承下さい。
●本製品(ソフトウェアを含む)が、外国為替および外国貿易法の規定により、輸出規制品に該当する場合は、日本国外に持ち出す際に日本政府の輸出許可申請等必要な手続きをお取り下さい。
詳しくは、マニュアルまたは各製品に添付しております注意書きをご参照下さい。